

2021年2月26日

各位

会社名 室町ケミカル株式会社
代表者名 代表取締役社長 青木 淳一
(コード番号: 4885 東証JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 井内 聡
(TEL. 0944-41-2131)

東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2021年2月26日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2021年5月期(2020年6月1日~2021年5月31日)における当社の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円・%)

項目	決算期	2021年5月期 (予想)			2021年5月期 第2四半期累計期間 (実績)		2020年5月期 (実績)	
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率		対売上 高比率	
売上高		4,786	100.0	△9.4	2,482	100.0	5,280	100.0
営業利益		348	7.3	16.5	243	9.8	301	5.7
経常利益		301	6.3	10.8	219	8.8	278	5.3
当期(四半期)純利益		202	4.2	542.2	75	3.0	34	0.7
1株当たり 当期(四半期)純利益		74円33銭			30円57銭		17円16銭	
1株当たり配当金		15円00銭			—		3円00銭 (0円60銭)	

- (注) 1. 2020年5月期(実績)及び2021年5月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は期中平均発行済株式数(自己株式を除く)により算出しております。2021年5月期(予想)の1株当たり当期純利益は自己株式の処分株式数(970,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大220,500株)は考慮しておりません。
2. 2020年10月15日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。上記では2020年5月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益を算出しております。また、2020年5月期(実績)の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した数値を()内に記載しております。

3. 当社は2019年11月30日に子会社を清算終了しているため、2020年5月期は連結損益計算書を作成しておりますが、2021年5月期第2四半期累計期間及び2021年5月期は連結財務諸表を作成しておりません。よって、上表における2020年5月期（実績）は個別の数値を記載しておりますが、2021年5月期（予想）における対前期増減率は2020年5月期連結財務諸表の実績数値との比較によるものです。

なお、参考情報として、以下に2020年5月期連結損益計算書の実績数値を記載します。

【連結】 (単位：百万円、%)

	2020年5月期 (実績)	
		対売上 高比率
売上高	5,280	100.0
営業利益	299	5.7
経常利益	271	5.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	31	0.6
1株当たり 当期純利益	15円75銭	
1株当たり 配当金	3円00銭	

【2021年5月期業績予想の前提条件】

当社は2019年11月30日に子会社を清算終了しているため、2020年5月期は連結損益計算書を作成しておりますが、2021年5月期第2四半期累計期間及び2021年5月期は連結財務諸表を作成しておりません。下記、「(1) 全体の見通し」及び「(2) 個別の前提条件」においては、2020年5月期の連結財務諸表との比較を行っております。

(1) 全体の見通し

当社は、医薬品原薬の製造・販売を主とする医薬品事業、スティックゼリーの健康食品の企画・製造を主とする健康食品事業、液体処理用製品の加工・販売を主とする化学品事業の3事業を行っております。

医薬品原薬・中間体市場は2013年度～2017年度の5年間で、3,660億円から4,300億円への成長を記録しており、2022年度には4,700億円に拡大すると予想されます。健康食品市場は、2019年はインバウンドの失速や相次ぐ自然災害などが影響し、前年比0.2%減の1兆2,455億円となりましたが、整腸やスポーツ志向、免疫力向上など健康への関心は高まっており、今後も堅調に推移すると予想されます。国内の水処理市場については、すでに成熟化しているものの、堅調に推移しております。また、近年好調な半導体などの電子分野では、使用する薬品の高純度化が求められ、液体処理技術の需要が増すものとみられます。

2021年5月期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、国内外で経済活動の停滞が起きました。感染拡大の防止策を講じつつ、持ち直しの動きがみ

られるものの、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社の2021年5月期の業績予想は、売上高4,786百万円（前期比9.4%減）、営業利益348百万円（前期比16.5%増）、経常利益301百万円（前期比10.8%増）、当期純利益202百万円（前期比542.2%増）となる見込みです。

(2) 個別の前提条件

当社は、2020年11月30日開催の臨時取締役会において、2021年5月期年度予算の修正を決議しており、本資料における2021年5月期の業績予想は、2020年6月から2020年10月までの実績値に、2020年11月から2021年5月までの予想値を加えたものとなっております。

① 売上高

売上高は、前期比9.4%減の4,786百万円を見込んでおります。

2020年11月以降の予想値については、現在の受注状況、顧客からヒアリングした購入計画や購入時期、過去の実績を勘案した数値を顧客毎に積み上げ、策定しております。セグメント別の業績予想は次の通りです。

[医薬品事業]

医薬品事業では、医薬品の有効成分である原薬を主に取り扱っております。海外原薬メーカー等から国内の製薬会社や医薬品商社の求める原薬を調達するほか、自社での原薬合成、原薬の異物除去や精製などの加工を行い販売しています。そのほか、医薬品や農薬の研究に使用されるラジオアイソトープ(注)1の輸入等も行っております。

2021年5月期の医薬品事業の売上高については、輸入原薬の分野において、原料変更の申請を行った原薬の承認が当初予定していた時期より遅れたため、当期の納入量の減少が見込まれております。また、新型コロナウイルス感染症の影響によりアレルギー用市販薬の売上が減少しており、当該薬向けの原薬の売上が減少する見込みです（前期比54百万円減）。

一方、原薬の加工分野において、異物除去案件が順調に推移しており、前期比70百万円の増加見込みです。また、前期に引き続き農薬業界向けのラジオアイソトープの販売が好調に推移しており、前期実績を上回る見込みです。

以上の結果、2021年5月期の医薬品事業の売上高は2,440百万円（前期比4.6%減）を見込んでおります。

[健康食品事業]

健康食品事業では、スティックゼリータイプの健康食品の企画・製造を行っており、通信販売や店舗販売などで健康食品を販売する会社へ納入しております。また、TV通販を通じて自社製品の販売も行っております。

2021年5月期の健康食品事業の売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、店舗販売を行っている顧客向けの製品は当初の計画を下回っておりますが、通信販売を行っている顧客向けの製品は好調に推移しております。TV通販にて販売している自社製品の売上についても、前期比19百万円の増加見込みです。

新規案件については、海外向け製品を中心に新製品販売に向けた動きが鈍化しており、当期の販売開始が見込めない案件も出ております。また、大口OEM(注)2ゼリーの販売終了によ

り前期と比較して 212 百万円の売上が減少、錠剤関連製品の製造終了により前期と比較して 96 百万円の売上が減少しております。

以上の結果、2021 年 5 月期の健康食品事業の売上高は 704 百万円（前期比 35.5%減）を見込んでおります。

[化学品事業]

化学品事業では、純水(注)3 製造や液体の精製に使用されるイオン交換樹脂(注)4 や分離膜(注)5 の加工・販売等を行っております。国内外のイオン交換樹脂メーカーや分離膜メーカーから仕入れた製品を、必要に応じ加工し、化学品メーカーや商社へ販売しております。また、使用により性能が低下したイオン交換樹脂や分離膜をユーザーから回収し、当社で再生処理も行っております。

2021 年 5 月期の化学品事業の売上高については、商材ごとの増減はあるものの、概ね前期と同等と見込んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響で、加工分野の燃料電池向け製品において海外からの材料納入が滞り、当期の売上は半減する見込みです。一方、イオン交換樹脂の分野で、半導体製造に使用されている製品や医薬品製造に使用されている製品などの販売が好調に推移しております。

以上の結果、2021 年 5 月期の化学品事業の売上高は 1,641 百万円（前期比 0.7%増）を見込んでおります。

(注)1 放射性同位元素。放射線を出す性質のある元素であり、化合物の追跡や分析に使用される。

(注)2 Original Equipment Manufacturing の略。発注元企業のブランド名で販売される製品を製造すること。

(注)3 不純物を含まない水。

(注)4 イオン交換(物質中のイオンと溶液中のイオンを入れ替える)機能を持つ合成樹脂であり、純水の製造や排水中の重金属除去など様々な分野に使用される。

(注)5 細孔の空いた膜で、用途に合わせた孔径の膜を使用し濾過や濃縮などを行うことができる。

② 売上原価、売上総利益

売上原価につきましては、原材料費、製造経費及び仕入原価の積み上げにより算出しております。原材料費及び仕入原価は、過去実績から見込まれる商材区分毎の原材料費率及び仕入原価率と売上計画から算出しており、当期の原材料費及び仕入原価は 2,240 百万円（前期比 10.5%減）を見込んでおります。製造経費は、製造部門毎に該当製品の月次売上計画より月次単位の生産計画を立案し、変動を勘定科目毎に経費へ落とし込んでおります。製造経費の主なものは、人件費、減価償却費、外注加工費となっております。

人件費については、製造計画を勘案した各部門の人員計画を基に、給与等の見込みの積み上げにより算出しております。当期は健康食品事業における大口 OEM 製品の終売などにより、製造量の減少が見込まれており、人材派遣料が大幅に減少しております。また、前期に支給した期末賞与を当期は予定していないため、当期の人件費は 560 百万円（前期比 16.8%減）の見込みです。

減価償却費については、現在保有している固定資産の減価償却費に、取得予定の固定資産の減価償却費を加味して、月次で固定資産管理システムにより計算された値を用いております。

す。なお、2020年5月期に、医薬品事業の合成工場及び健康食品事業の錠剤製造設備において、2021年5月期第2四半期に、健康食品事業のゼリー製造設備において減損損失を計上したため、当期の製造部門の減価償却費は98百万円（前期比47.6%減）と大きく減少する見込みです。

外注加工費については、健康食品事業の錠剤製品の撤退や大口OEM製品の終売などにより、38百万円（前期比46.3%減）となる見込みです。

その他、各部門の定期メンテナンス及び定期的に交換が必要な部品等にかかる経費や売上計画に基づいた動力費、消耗品費などを月次単位で織り込んでおり、突発的に発生し得る経費についても、判明している範囲で経費に織り込んでおります。

以上の結果、2021年5月期における売上原価は3,170百万円（前期比14.2%減）、売上総利益は1,615百万円（前期比1.8%増）を見込んでおります。

③ 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費についても、部門毎・勘定科目毎に作成した月次の経費計画の積み上げにより算出しております。販売費及び一般管理費の主なものは、人件費、手数料、旅費交通費となっております。

人件費については、製造経費同様、各部門の人員計画を基に、給与等の見込みの積み上げにより算出しております。人員増や採用見込みにより人件費は増加しておりますが、前期に支給した期末賞与を当期は予定していないため、当期の人件費は790百万円（前期比6.5%減）の見込みです。手数料については監査報酬の増加などを見込み、91百万円（前期比15.1%増）としております。旅費交通費は主に営業活動に関するもので、各部門での計画を積み上げて算出しております。現在のところ新型コロナウイルス感染症の影響により、海外出張は再開できておりませんが、今後海外出張が再開できる可能性を考慮し、当期の旅費交通費は62百万円（前期比29.6%増）を見込んでおります。

以上の結果、2021年5月期における販売費及び一般管理費は1,266百万円（前期比1.6%減）、営業利益は348百万円（前期比16.5%増）を見込んでおります。

④ 営業外損益、経常利益

営業外収益は主に預金利息などの受取利息や保有株式の受取配当金のほか、現在予定されている助成金の支給を見込んでおります。営業外費用は、上場関連費用のほか、主に支払利息を借入・返済計画を基に月次での利息額を算出し見込んでおります。

以上の結果、2021年5月期における営業外収益は6百万円（前期比79.7%減）、営業外費用は53百万円（前期比11.2%減）、経常利益は301百万円（前期比10.8%増）を見込んでおります。

⑤ 特別損益、当期純利益

特別利益として現在見込んでいるものは特にありません。特別損失としては、健康食品事業において、ゼリー製造設備の減損損失137百万円を計上しております。新型コロナウイルス感染症の影響による、売上減少、新規案件の獲得減少により、投資回収の可能性が低下したと判断したことによるものです。

法人税等の税金費用については、繰越欠損金に係る繰延税金資産の計上などにより、△41百万円（前期は△20百万円）を見込んでおります。

その結果、2021年5月期における当期純利益は202百万円（前期比542.2%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上

2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月26日

上場会社名 室町ケミカル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4885 URL https://muro-chem.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)青木 淳一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部長 (氏名)井内 聡 (TEL)0944(41)2131
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第2四半期の業績(2020年6月1日～2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	2,482	—	243	—	219	—	75	—
2020年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	30.57	—
2020年5月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2020年5月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年5月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3. 2020年9月14日開催の取締役会決議により、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2021年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第2四半期	4,586	330	7.2
2020年5月期	4,785	252	5.3

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 330百万円 2020年5月期 252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,786	△9.4	348	16.5	301	10.8	202	542.2	74.33

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は2019年11月30日に子会社を清算終了しているため、2020年5月期は連結損益計算書を作成しておりますが、2021年5月期は連結財務諸表を作成しておりません。上表における対前期増減率は2020年5月期連結財務諸表の実績数値との比較によるものです。
3. 2020年9月14日開催の取締役会決議により、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2021年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年5月期2Q	3,875,000株	2020年5月期	3,875,000株
2021年5月期2Q	1,400,000株	2020年5月期	1,400,000株
2021年5月期2Q	2,475,000株	2020年5月期2Q	2,475,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

- （注）2020年9月14日開催の取締役会決議により、2020年10月15日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2020年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然厳しい状況ではありますが、各種政策等の効果もあり持ち直しの動きも見られつつありました。しかし、感染者が再び増加傾向にあるなど、先行きは不透明な状態が続いております。当社においても、感染拡大防止に配慮しつつ事業活動を継続してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における経営成績は、売上高2,482,735千円、営業利益243,617千円、経常利益219,550千円、四半期純利益75,649千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品事業

原料変更の申請を行っていた原薬について、承認の遅れにより当期の納入開始が遅れ、計画を下回って推移しております。一方、前四半期に引き続きアイソトープの売上は計画を上回っており、ポリスチレンスルホン酸カルシウムの売上も堅調に推移しております。

その結果、医薬品事業における売上高は1,273,738千円、営業利益は270,224千円となりました。

② 健康食品事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面販売を行っている取引先では注文が伸び悩みました。一方、通信販売を行っている取引先は販売が好調な取引先も多く、TV通販で販売している当社自社ゼリーについても好調な販売となりました。

その結果、健康食品事業における売上高は381,322千円、営業損失は40,652千円となりました。

③ 化学品事業

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、装置導入の延期や保留が発生している取引先がありますが、半導体製造向けや医薬品製造向けのイオン交換樹脂の販売を中心に全体的には堅調に推移しております。

その結果、化学品事業における売上高は827,673千円、営業利益は14,045千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて199,355千円減少し、4,586,612千円となりました。これは主として、受取手形が144,502千円減少、売掛金が119,770千円減少、建物が92,862千円減少、機械及び装置が73,999千円減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べて277,633千円減少し、4,256,080千円となりました。これは主として、流動負債その他が153,357千円減少、長期借入金151,240千円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて78,278千円増加し、330,531千円となりました。その結果、自己資本比率は、7.2%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の業績予想につきましては、本日開示いたしました「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、当該業績予想は、現時点で入手された情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	880,950	1,132,438
受取手形	305,386	160,883
電子記録債権	619,113	608,360
売掛金	878,831	759,061
商品及び製品	411,768	327,709
仕掛品	22,949	38,028
原材料及び貯蔵品	300,594	375,980
その他	50,249	46,152
流動資産合計	3,469,844	3,448,614
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	466,896	374,033
機械及び装置(純額)	244,894	170,894
土地	260,431	260,431
その他(純額)	90,670	76,468
有形固定資産合計	1,062,892	881,828
無形固定資産	16,754	11,312
投資その他の資産		
投資有価証券	46,743	54,344
繰延税金資産	140,317	132,705
その他	49,413	57,808
投資その他の資産合計	236,474	244,857
固定資産合計	1,316,122	1,137,998
資産合計	4,785,967	4,586,612

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	40,624	20,686
電子記録債務	161,328	137,269
買掛金	356,259	385,925
短期借入金	1,650,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	405,552	452,480
未払法人税等	1,127	1,039
賞与引当金	193,079	182,201
その他	371,838	218,481
流動負債合計	3,179,810	3,048,083
固定負債		
長期借入金	1,188,040	1,036,800
退職給付引当金	15,592	14,816
役員退職慰労引当金	118,690	125,627
資産除去債務	26,227	26,227
その他	5,354	4,525
固定負債合計	1,353,903	1,207,997
負債合計	4,533,714	4,256,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,000	60,000
利益剰余金	371,518	445,683
自己株式	△189,271	△189,271
株主資本合計	242,247	316,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,006	14,119
評価・換算差額等合計	10,006	14,119
純資産合計	252,253	330,531
負債純資産合計	4,785,967	4,586,612

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	2,482,735
売上原価	1,646,733
売上総利益	836,001
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	203,399
法定福利費	45,708
賞与引当金繰入額	43,812
退職給付費用	4,804
役員退職慰労引当金繰入額	6,937
その他	287,722
販売費及び一般管理費合計	592,384
営業利益	243,617
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	750
補助金収入	567
保険金収入	566
雑収入	515
営業外収益合計	2,401
営業外費用	
支払利息	14,573
為替差損	7,562
その他	4,332
営業外費用合計	26,468
経常利益	219,550
特別利益	
固定資産売却益	89
特別利益合計	89
特別損失	
固定資産売却損	209
減損損失	136,633
固定資産除却損	980
特別損失合計	137,823
税引前四半期純利益	81,815
法人税、住民税及び事業税	1,039
法人税等調整額	5,126
法人税等合計	6,165
四半期純利益	75,649

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。